



## 大成建設 株式会社



大手総合建設業

13,000

ユーザー



建築・不動産



パッケージ版

ご利用製品	desknet's NEO (2002年よりiOffice Ver.3を活用)						
導入時期	2013年	従業員数	8,095名(グループ企業全体で約20,000名)	設立	1917年	所在地	東京都新宿区
事業内容	建築工事、土木工事、機器装置の設置工事、その他建設工事全般に関する企画、測量、設計、監理、施工、エンジニアリング、マネジメント及びコンサルティング						
URL	<a href="http://www.taisei.co.jp/">http://www.taisei.co.jp/</a>						

「新たな経営戦略の推進にむけて、desknet's NEOを採用。

2万ユーザーの連携強化で、ポジティブな経営改革に挑みます！」

近代日本を代表する経済人、創業者大倉喜八郎の進取のスピリッツを受け継ぎ、大手建設企業の中では数少ない非同族系企業として自由闊達な社風を重視してきた大成建設株式会社様。ITによる経営・業務改革にも積極的に取り組んできた同社では、グループウェアも早期より導入・活用してきました。このたび新たな経営戦略・グループ企業間連携の強化を目指して、グループウェアをdesknet's NEOに刷新。2013年、創業140周年を迎え、トルコでは150年来の構想・夢だったボスポラス海峡トンネルを独自の技術によって実現。鉄道を開通させました。国内外で飛躍する事業を根底で支える情報共有の要、desknet's NEOの活用法について社長室直轄 情報企画部の皆さまにお話をうかがいました。

### この事例の ポイント

- 1 カスタマイズで永年活用してきたグループウェアを最新の製品へ
- 2 グループ経営の強化と大規模ユーザーの利用に適したdesknet's NEOを採用
- 3 導入後2ヶ月で、回覧・レポート1万2,000通/1日平均を達成
- 4 2万人の活用を予定。desknet's NEOが経営戦略の核となるツールに

## ご利用中のお客様の声

### カスタマイズで永年活用してきた グループウェアを最新の製品へ

— desknet'sをご導入いただいたきっかけは何ですか？

90年代後半から基幹系業務システムのweb化を推進していました。同時期に業務システムをすべてwebアプリに変えて企業ポータル運用にも着手しました。2002年にはコミュニケーション系の基盤も刷新しています。その際、web版の企業ポータル導入にあわせてdesknet's(導入製品は「iOffice V3」)を採用したのです。

— その後長期にわたりご利用頂きました。web版企業ポータルとdesknet'sの導入にあわせて、アクセス権の設定や個人認証にも厳密な規程と体制を整備しました。アクセス権の厳密な管理を確立する一方で、個人認証後は、シングルサインオンで多様なアプリケーションを活用できるような環境も整備しました。desknet'sにもカスタマイズを施してシステム全体との親和性をはかり、ユーザーの利用度を高めました。永年にわたり活用され、定着していましたが、様々な条件からリプレースすることになったのです。

### グループ経営の強化と大規模ユーザー の活用に適したdesknet's NEOを採用

— グループウェアを刷新するまでの経緯をお教え下さい。

グループ経営やコミュニケーションの強化を目指す経営戦略の一環として2011年から「ICT投資5か年計画」施策に取り組んでおり、その中核にあるのが、ポータルとグループウェアの刷新でした。自社のシステムに適合し活用していたdesknet'sですが、11年も活用していると、行き交う情報量が飛躍



社長室  
情報企画部  
企画室長  
成瀬 亨 様



社長室  
情報企画部  
企画室課長  
島田 裕司 様

的に増大し、情報共有の重要性が益々認識され、業務がグループウェアに依存する割合が増してくるなど課題も浮上しました。カスタマイズの影響がバージョンアップを阻んでいましたし、経営戦略強化の観点から、本社とグループ会社全体の情報共有と業務効率化を実現する仕組みにしたかったのです。

— そしてdesknet's NEOをご採用いただきました。

2012年3月、4社にRFPを発行し、新たなグループウェアの製品選定を開始しました。特に重視したのはグループ会社の展開を視野に入れた利用者管理とアクセス制御の確立、スマートデバイスの活用と最適化、情報をより迅速に共有できるPUSH機能の強化等で、約3ヶ月にわたる製品検討を経てdesknet's NEOへの乗り換えを決定しました。

採用の決め手は、「メール機能の充実」、「各種既存データの移行性の高さ」、「ユーザーの使いやすさ」、「バージョンアップへの無償対応やコスト・パフォーマンス」、「大規模ユーザーにおける利用や運用のしやすさ」等でした。新たにグループ企業への展開も控えていましたので、規模や業態が異なる各企業が抱えている課題やニーズに配慮し、企業ごとに必要な機能が選択できるなどの要素にも配慮しました。グループ企業全体の個別のニーズや2万ユーザーの活用に応えられるような仕様は特に重視した点です。

### 導入後2ヶ月で、回覧・レポート 1万2,000通／1日平均を達成

— 導入後2ヶ月で、すでに利用度の高い機

能が見られたようです。

desknet's NEOは2013年7月より本格稼働し、すでに1万3,000ユーザーが活用しています。[回覧・レポート]は[ウェブメール]との使い分けで、当初より社内メールとしての活用を想定していましたが、導入後2ヶ月で、一日平均約5,000ユーザーによって1万2,000通がやり取りされるまでに利用度が上がりました。また[スケジュール][設備予約]の登録は一日平均4,500件です。各機能の利用度は着実に高まっているところです。

### 2万人の活用を予定。

### 経営戦略の核となるツールに

— 導入後の効果についてお聞かせ下さい。

企業内ポータルのガジェットと連携させることで、desknet's NEOの新着情報が迅速に告知され、必要な情報へのアクセス効率が向上しました。最も利用度が高い[回覧・レポート]も機能の改善や使用感の向上で利用件数が増大しています。従来の製品から飛躍的な進化を遂げた。それが、desknet's NEOに対する印象です。新たなインターフェースはデザイン的にも、機能的にも進化していますし、HTML5の採用はユーザーの使用感を高めるだけでなく、処理速度も向上するなど、作業効率の観点からも高く評価できると思います。当初のねらい通り、desknet's NEOがグループ経営を強化する上で必要不可欠なツールとなりました。今後2万ユーザーの利用を予定していますが、管理運用面はもちろん、コストの観点からもdesknet's NEOは評価できる製品です。

## ご利用中の機能と使い方



### ポータル

企業内ポータルに、ピーコンIT社製のinfoScoopを採用。「desknet's NEOのメニュー」「各機能の新着情報」をガジェットとして組み込みグループウェアの機能活用を効率化している。



### インフォメーション

全社および部署への通知等に活用。10~20件/日、情報がアップされ上限90日間公開される。情報の質にあわせ文書管理と使い分けしている。



### 回覧・レポート

社内メールとして活用。1日平均5,000ユーザーが約1万2,000通近く利用している最も利用度の高い機能。添付ファイルのやり取りも多く、個人間でもグループでも活用している。ここから全社員に向けて通知を発信することも可能で、desknet's NEOへの乗り換えによって、部署全体への一斉メールなどで一度に発信できる件数も向上した。



### ウェブメール

[回覧・レポート]と使い分け、外部とのやり取りを行う際に活用している。desknet's NEOに移行したことで、インターフェースも刷新され、クライアントメーカーに匹敵する使用感で、ユーザーから飛躍的に使い勝手がよくなったと評価されている。



### 文書管理

書式集、席座表、通達・通知の他、多様な文書を格納。登録文書数は約8,500件(21,500添付ファイル)。



▲ 大成建設様ご利用中の「回覧・レポート」画面



### 15 スケジュール

全社員の予定を公開。内勤部門の利用率が高いが、施工現場や移動が多い社員からPCのない場面でもdesknet's NEOを活用したいというニーズが高く、スマートデバイスの活用領域を広げてゆく方針。



### 設備予約

会議室などの予約に活用。[スケジュール]とも連動しており、登録数は一日平均4,500件。つねに予約登録・管理が行われている利用度の高い機能。



▲ 大成建設様ご利用中の「スケジュール」画面